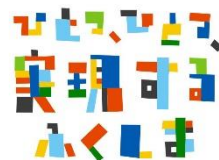


主要な農作物の生育情報

令和7年度 第4号

(令和7年7月14日現在)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稻（農業総合センターの作柄解析試験における7月1日現在の生育概況）

全ての調査場所でコシヒカリ、ひとめぼれともに、草丈が平年より長く、主稈葉数が多く（会津ひとめぼれを除く）、葉色が淡くなっています。茎数は、品種・場所により平年より少ない～多くなっています。

表1 農業総合センターにおける水稻の生育状況

調査場所	品 種	移植期 (月. 日)	7月1日調査			
			草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	主稈葉数 (枚)	葉色 (SPAD502 値)
本 部	コシヒカリ	5. 15	60.9 (118%)	603 (93%)	10.2 (+0.5)	35.6(−1.2)
	ひとめぼれ	5. 15	59.6 (119%)	662 (101%)	10.1 (+0.4)	37.5(−1.8)
会津地域 研 究 所	コシヒカリ	5. 20	67.4 (115%)	774 (107%)	10.5 (+0.2)	37.5(−2.4)
	ひとめぼれ	5. 20	62.3 (112%)	768 (104%)	10.2 (−0.1)	41.2(−1.3)
浜 地 域 研 究 所	コシヒカリ	5. 9	72.4 (118%)	795 (107%)	10.4 (+0.5)	35.5(−2.2)
	ひとめぼれ	5. 9	70.3 (115%)	763 (95%)	10.3 (+0.3)	39.8(−1.4)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、会津地域研のコシヒカリでは前4年平均(2020～2021, 2023～2024年)、それ以外では前5年平均(2020～2024年)との比較

2 大豆（農業総合センターの作柄解析試験における生育概況）

出芽日数は、標播では全ての調査場所で平年より1～2日短くなりました。晩播では、本部・会津で平年並み、浜地域研究所で2日長くなりました。

表2 農業総合センターにおける大豆の生育状況

調査場所	播種 時期	品 種	播種期 (月. 日)	出芽期 (月. 日)	出芽日数 (日)
本 部	標播	タチナガハ	5. 29 (−4)	6. 8 (−6)	10 (−2)
		里のほほえみ	5. 29 (−4)	6. 8 (−5)	10 (−1)
	晩播	タチナガハ	6. 20 (±0)	6. 28 (±0)	8 (−1)
		里のほほえみ	6. 20 (±0)	6. 28 (+1)	8 (+1)
会津地域 研 究 所	標播	あやこがね	5. 29 (−3)	6. 6 (−4)	8 (−1)
		里のほほえみ	5. 29 (−3)	6. 7 (−3)	8 (−1)
	晩播	あやこがね	6. 20 (±0)	6. 28 (±0)	8 (±0)
		里のほほえみ	6. 20 (±0)	6. 28 (±0)	8 (±0)
浜 地 域 研 究 所	標播	タチナガハ	5. 29 (−11)	6. 3 (−12)	5 (−1)
		里のほほえみ	5. 29 (−11)	6. 3 (−12)	5 (−1)
	晩播	タチナガハ	6. 20 (−3)	6. 28 (−1)	8 (+2)
		里のほほえみ	6. 20 (−3)	6. 28 (−1)	8 (+2)

注1) 調査場所は、本部が郡山市、会津地域研究所が会津坂下町、浜地域研究所が相馬市

注2) 括弧内の数字は、前5年平均(2020～2024年)との比較

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県北・県中地方の4月下旬定植の雨よけ栽培は、平年並の5月下旬から収穫が始まり、現在は、主枝上段と側枝中段が収穫中となっています。6月中旬の高温乾燥により芯焼けが発生しましたが、現在は概ね順調に生育が進んでいます。5月下旬定植の露地栽培は、定植前後の低日照により、節間が短い傾向にあり、また、6月中旬の高温乾燥により芯焼けが発生しましたが、現在は回復傾向にあります。6月下旬から収穫が始まり、順次、親づるの摘芯作業が行われています。

病害虫は、雨よけ栽培では、べと病やハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類が平年並に発生し、露地栽培では、べと病、うどんこ病、一部で炭そ病が発生しており、また、アブラムシ類、ウリハムシ類が平年より多く、アザミウマ類、ハダニ類、カメムシ類、ウリノメイガ等は平年並に発生しています。

2 夏秋トマト

県南地方の4月中旬定植の作型では、6月中旬から収穫が始まり、南会津地方の5月下旬定植の作型では、7月中旬頃から収穫開始を見込んでいます。春先の低温により、根張りが弱く、低段の着果負担の影響もあり、やや草勢が弱まっているほ場も見られます。

一部で黄化葉巻病やうどんこ病、疫病等が発生しています。また、トマトキバガの発生も見られています。

3 さやいんげん

県中・会津地方の5月中旬定植の露地栽培では、6月上旬の低温の影響で生育遅延がみられましたが、それ以降の高温により生育は回復しており、平年並の生育となっています。県中地方では、6月中旬以降の高温の影響で花落ちが発生しています。

病害虫は、一部で菌核病や灰色かび病は発生しており、また、アザミウマ類やアブラムシ類、ハダニ類が発生しています。

4 夏秋ピーマン

県中地方のハウス栽培では、5月下旬から収穫が始まり、当初は尻腐れ等が発生しましたが、6月以降は順調に生育しています。トンネル栽培では、平年並の6月中旬から収穫が始まっています。露地栽培では5月中旬から6月上旬にかけて定植され、直後の強風等により、葉の損傷が見られましたが、現在は、概ね順調に生育しています。害虫はアブラムシ類やヨトウムシ類が発生しています。

【果 樹】（福島県農業総合センター果樹研究所における7月1日現在の生育概況）

1 もも

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」は縦径が52.4 mm（平年比108%）、側径が54.7 mm（平年比115%）、「ゆうぞら」は縦径が50.5 mm（平年比106%）、側径が46.1 mm（平年比110%）と両品種とも平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年よりやや小さくなっています。

DVRモデルによる「あかつき」の収穫期予測は、気象庁の気象予報を用いた場合は、収穫開始日は7月27日ごろで平年より4日早く、収穫盛期日は7月31日で平年より4日早い見込みです。

2 なし

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」は縦径が33.9 mm（平年比100%）、横径が42.1 mm（平年比105%）で平年並、「豊水」は縦径が39.2 mm（平年比111%）、横径が44.7 mm（平年比118%）で平年より大きい状況です。満開後日数で比較すると、「幸水」は平年並、「豊水」は平年よりやや大きくなっています。

DVRモデルによる「幸水」の発育予測では、収穫盛期は8月23日ごろで平年より6日早い見込みです。

3 りんご

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」は縦径が50.5 mm（平年比99%）、横径が58.5 mm（平

年比 102%)、「ふじ」は縦径が 46.8 mm (平年比 103%)、横径が 48.7 mm (平年比 101%) と両品種とも平年並です。満開後日数で比較すると、両品種とも平年よりやや小さくなっています。

4 病害虫の発生

果樹カメムシ類の発生が平年に比べて多い地域があります。リンゴ褐斑病の発生が平年より高く、モモせん孔細菌病、ナシ黒星病の発生が一部で確認されるため、梅雨期の管理について果樹情報等を発行して注意を喚起し、現地における耕種的防除や防除対策の徹底を図っています。

【花 き】

1 コギク

8月咲きの生育は、草丈が平年並からやや低く、葉数が平年並からやや少ないです。草丈の低さは、6月中下旬の降水量が平年より低いことが影響していると考えられます。また、6月下旬頃から発蕾が確認されており、一部地域では発蕾が平年よりやや早い様子が見られています。

9月咲きは、草丈が概ね平年並、葉数が平年並からやや多いです。

病害虫では、アブラムシ類、タバコガ類、ハダニ類の発生が続いています。また、アザミウマ類、カメムシ類等の発生による被害も見られています。

2 リンドウ

早生種の生育は、草丈が平年よりやや高く、葉数が多い傾向です。ただし、雪解けが遅かった地域では草丈がやや短いです。

中晩生種の生育は、草丈、葉数ともに概ね平年並です。多くの地域で上位側芽発生期に達しており、平年並の生育と考えられます。

病害は、葉枯病、黒斑病の発生が続いています。特に、葉枯病は下位葉を中心に発生が見られます。また、害虫は、一部産地でリンドウホソハマキ、ハダニ類の発生が見られます。

【飼料作物】

1 牧草

牧草は、1番草において5月中旬から収穫作業が行われ、収量は例年並、品質は良好な状態です。2番草の生育は再生期から出穂期にあり、順調に生育しています。

2 飼料用トウモロコシ

飼料用トウモロコシは、順調に生育しています。

<< 高温に関する天候情報が発表されています >>

◎ 令和7年度農業技術情報第5号(令和7年7月7日発行)

「高温条件下における農作物等の技術対策」

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/699122.pdf>

を活用し、適切に対応しましょう。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ)

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> 等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiiku>